

令和2年度の事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 アドバンス

1 事業の成果

共同生活援助において、障害者の自立と社会参加への促進を目指して事業を行った。  
共同生活支援事業は、個別支援計画に基づき、サービス管理責任者と世話人が協同して支援した。  
勤労意欲も高まっているが、新型コロナウイルス感染症対策の為、余暇利用にも行動の制限等もあり参加が難しい1年となったが、金銭管理・自立への意識を更に高めたい。  
男性A氏（2月7日退寮）女性B氏（2月27日退寮）、空室（3室）の入寮と定着を目指します。

A型事業所においては、業務委託先との次年度契約条件の見直しを行い、利用者20名→15名へ削減され、現状勤務シフトにて15名の枠を20名で稼働しており、厳しい状況となったが仕事量の確保はできた。このような状況の中で5名の利用者へ一般就労を含め他事業所への移行等支援を行い、適正定員に近付けていく事が当面の課題となっており、今後も一般就労への支援を行うと共に、一人でも多くの利用者の方の自立に向けた支援を行ってまいります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業～共同生活援助

定款に記載した事業	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従業者の人数	(D) 受益対象の範囲 (E) 人員	事業費の金額 (単位：千円)
障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業(共同生活援助)	個別支援計画の策定と実施、グループホームの日常生活、相談、金銭管理、就労等の各支援	(A) 年間 (B) あすなろホーム 大木寮 (C) 5名	(D) 利用者 (E) 4/1～11名 2/8～10名 2/28～9名	20,434
同上	利用者と従業者の視察旅行 福岡県	(A) 11/15 (B) 福岡県 (C) 5名	(D) 利用者 (E) 利用者 全員	122
同上	利用者と従業者の食事・懇親会 (B) GH食堂	(A) 5/4、9/12 12/8 (C) 5名	(D) 利用者 (E) 利用者 全員	24
同上	世話人及びサービス管理責任者の研修会費用	(A) 11/28 (B) 鳥栖市内 (C) 5名	(D) 利用者 (E) 利用者 全員	46
同上	利用者の帰省、家族連絡費用	(A) 年間 (B) グループホーム内 (C) 5名	(D) 利用者 (E) 利用者 全員	71
同上	防災設備点検及び部品交換 ※業者(十八防災システム)依頼 防災用備品費用	(A) 年間 (B) グループホーム内 (C) 5名	(D) 利用者 (E) 利用者 全員	63
同上	その他支援の経費 消耗品費、飲料水、薬代 設備修繕費、	(A) 年間 (B) グループホーム内 (C) 5名	(D) 利用者 (E) 利用者 全員	184
合 計				20,944

(2) 特定非営利活動に係る事業 (就労継続支援A型事業)

障害者自立支援法に基づく福祉サービス事業(就労継続支援A型)	一般就労へ向けての、訓練及び就労生活の指導・援助費用	(A) 年間 (B) なかま (C) 4名	(D)利用者 (E) 20名	11,628
	作業の技術向上と仕事を通じて社会人としてのマナーを身に付けるための訓練を受ける利用者の人件費	(A) 週5日勤務 (B) 洗淨職場 (C) 4名	(D)利用者 (E) 20名	23,205
	洗淨職場の賃借料 利用者の就労するための、職場の確保	(A) 週5日勤務 (B) 洗淨職場 (C) 4名	(D)利用者 (E) 20名	573
	就労支援基礎研修 サービス管理責任者研修	(A) (B) (C) 4名	(D)利用者 (E) 20名	0
	洗淨室水光熱費 ボイラー、洗淨機、乾燥機の重油代	(A) 年間 (B) ボイラー、洗淨機、乾燥機、 (C) 4名	(D)利用者 (E) 20名	0
	利用者の送迎 佐賀駅～なかま、佐賀駅まで、公共機関を利用する事により、行動範囲が広がる	(A) 月～金 (B) 佐賀～なかま (C) 4名	(D)利用者 (E) 17名	1,216
	食事費 管理栄養士による献立でバランスのとれた食事で健康管理	(A) 月～金 (B) 食堂 (C) 4名	(D)利用者 (E) 20名	2,027
	その他、支援に伴う事業			10,182
合 計				48,831

3 その他の事業は行っていません。